

市長への手紙回答

9月の市民提案月間に伴い実施されました「市長への手紙」には、40通が寄せられました。
市民の皆さんのご意見やご提案を市長が拝見し、記名のあった手紙には、返事をしております。そのうち、7人のかたがたには、市長が直接お会いして回答しました。
ここでは、いただいた手紙から、代表的なもの、その返事を要約してご紹介します。

【問】秘書・広報課 ☎88-1114



市の財政について

勝山市の収入と支出の割合は
(将来5年後の予測)

●横井詩穂さん(18)

現在お答えできるものとしては、3年後までのものです。
なぜ3年後までかと申しますと、国の財政制度変更が不透明で、その影響について推測できないためです。
3年後の平成23年度までの収入と支

勝山市 一般会計の見通し

年度	収入(歳入総額)	支出(歳出総額)
20	111億7,100万円	111億7,100万円
21	113億 700万円	113億 700万円
22	109億8,500万円	109億8,500万円
23	106億8,400万円	106億8,400万円

※中間財政見通し(平成20年度改訂版)から

出の見込みは右の表のとおりです。
税金などの収入は減少が見込まれる中、支出では可能な限り経費節減に努めつつも、明日の勝山を担ってくださる若者が夢を持てるようなまちづくりを進めたいと考えています。

各団体の低迷について

市内のいろいろな各団体が弱体化していることについての考えは

●中村隆夫さん(71)

現在、地域における各団体の加入率が下がっています。婦人会や壮年会のみならず、老人会も同様で、地域にある団体全般に言える事態となっています。
これは、近年、権利意識を強く持つ住民が多くなり、地域住民としての連携や連帯の意識が希薄になってきていることが理由の一つとなってきました。と思われ、教育委員会としまして危惧しています。

また、団体の活動がマンネリ化し、活力と魅力に欠けていることも原因だと思われま

す。地域の団体は何のためにあるのか、住みやすく、安全・安心な地域とするために団体が果たす役割など、住民への啓発活動が必要であると考えています。

そのために公民館は、公民館講座や地区集会、公民館広報紙などを通じて地域の団体についてPRするとともに、地域の団体と積極的に関わり、魅力ある団体となれるよう支援していきます。

福井社会保険病院について

福井社会保険病院は何としても確保していただきたい

福井社会保険病院の機能が、地域の総合的な拠点病院として継続できるように、今後も関係機関に対して存続活動を続けていきます。

10月から独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構(RFO)に引き継がれましたが、社団法人全国社会保険協会連合会により、引き続き経営運営がされています。

RFOにおいては、地域医療の確保を図るため、10月から2年の間に、適切な譲渡先を検討することになっていまして、廃止されるということではありません。

国への請願の趣旨にも記載しましたが、奥越地域医療の総合的な拠点病院として、救急医療、災害医療、小児医療などを担うとともに、心臓病、脳卒中、がん、整形外科などの治療やリハビリテーション機能などでも重要な役割を果たしており、この機能は、絶対に必要と考えています。(左ページ参照)



平泉寺の遺跡発掘について

平泉寺の遺跡発掘を市民のボランティアで促進できないか

●齊藤國三郎さん(87)

平泉寺の発掘調査は、今年で20年目を迎えましたが、史跡全体に占める発掘割合はまだ1%程度です。これは遺跡が全国屈指の規模と内容を持ち、さらに国の史跡(重要文化財)に指定されているため、十分な調査期間と慎重な調査が求められているからです。

文化庁では原則として国史跡のボランティアなどによる体験発掘調査を認めていません。なぜなら、発掘調査は一歩間違つと大切な遺跡を壊してしま

旧機業場について

旧機業場は、屋根を全部葺き替え、腰板も全部張り替えるなど、残っているのは柱だけのように思えますが

●朝日一男さん(66)

旧機業場は、築後100年以上経過した木造の建物で、将来において保存活用していくために、大規模な改修を行いました。

また、この建物は、市街地活性化の拠点施設として位置づけられており、多くのかたに来ていただくためには、耐震補強や防火対策などを行い、安全で安心できる建物にする必要があります。

今回の改修では、外壁や瓦を7割ほど取り換えました。木造建物は、復元改修をしました。木造建物は、今回のような改修を行うことが可能であり、この工事により、さらに100年後もこの建物を保存活用できるようになったものです。

また、この建物は、勝山市の繊維の歴史を象徴する建築物として、市の文化財に指定されました。県内でもこのような建物は限られたものとなり、昨年は、経済産業省の近代化産業遺産にも指定され、織維王国福井を全国に語り継いでいくための貴重な建物であります。

今後、建物の価値は、さらに50年、100年、年月が経過することによって、高められていくものと考えているところです。

福井社会保険病院の機能存続を求めて

—— 山岸市長が衆参両議長へ請願 ——



市民の署名とともに、松村龍二参議院議員(右)へ請願書の提出を依頼する山岸市長(中央)と和田会長(左)。

奥越地域の総合的な拠点病院として重要な役割を果たす「福井社会保険病院」の機能存続を求め、山岸市長は、11月12日に衆参両議員会館(東京都)を訪れ、両議長へ請願活動を行いました。

この請願は、今年の9月から10月にかけて集まった市民1万5822人の署名とともに行ったもので、松村龍二参議院議員、山本拓衆議院議員の紹介を通じ、国へ請願書を提出しました。また、この日は署名活動にご協力いた

ご寄付ありがとうございます

ございました

11月26日、越前信用金庫様から40万円が寄付されました。市役所を訪れた松田浩次常務理事は、「環境保全に役立ててください。」と、松山副市長に寄付金を手渡しました。



松山副市長に寄付金を手渡す松田常務理事